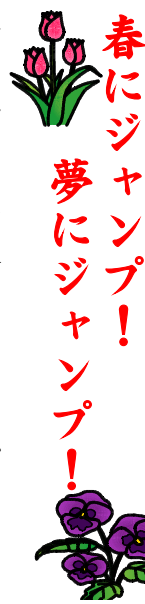


# 川口中学校 だより

平成23年3月1日  
福知山市立  
川口中学校

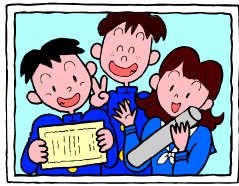


## 春の陽に無限の夢を温める

小川のせせらぎにも、木々の芽にも、そよ吹く風にも、春の息吹が感じられるようになりました。私たちのふるさとにも希望の春が巡ってきました。

近づく春の足音とともに、一枚一枚の卒業証書を、思いを込めて手渡す日が近づきます。一人一人の姿が輝く日ももうそこに迫っています。中学校最後の授業、卒業式がやってきます。新たな世界への旅立ちの時がやってきます。すでに進路が決まった生徒、まだ公立高校を受験する生徒、それぞれ違いはありますが、きつと自らの力で精一杯自分の進路を切り拓いてくれるものと確信しています。

川口中学校の機関車としてがんばってくれた三年生。川口中学校と北陵中学校の伝統をしっかり受け継ぎ、更に発展させ、新たな川口中学校の歴史を刻んでくれました。勉学に、スポーツに、福祉活動にと数々の業績を残しました。そして、たくさんの方の感動をありがとうございます。一年生は二年生へ、二年生は最上級生へそれぞれ進級します。上級生として、最上級生として、責任ある行動がとれるよう、残された一日一日を大切に送ってくれていることを嬉しく思っています。



す。そして、みんなが自分の夢に向かって切磋琢磨できる、お互いの夢が実現できるよう支え合える川口中学校を目指して頑張ってくれることを期待します。

桜の美しい季節の中、親に手を引かれ入学し通い始めた小学校からの九年間の義務教育を終える卒業生たち。故郷川口・公誠で育まれた卒業生たち。卒業生にとっても、保護者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様方にとっても、子どもたちの成長を実感していただけるものと存じます。

ご来賓の皆様並びに保護者の皆様におかれましては、大変ご多用のこととは存じますが、三月十五日(火)の卒業証書授与式にご臨席を賜り、巣立っていきます二十九名の卒業生たちに祝福と激励をいただければ幸いです。

後になりましたが、学校に対して物心両面からご協力ご支援をいただきました地域の皆様、PTAの役員の皆様をはじめ保護者の皆様、心より厚くお礼申し上げます。

歌うことも大好きな二年生が厚生会館の大舞台で、堂々とこれまでの練習成果を生かして「ジュピター」「歌よ、ありがとう」を歌い上げました。すばらしい合唱で、会場から万雷の拍手をいただきました。

## 響け、歌声!

福知山市合唱祭へ参加  
1月30日(日)

会場にいた多くの皆さんから、「川中の合唱、すばらしかったです。」とお褒めの言葉をいただき、とても嬉しくなりました。



## いざいざ! 時!

応急手当講習  
2月10日(木)

北分署から救急隊員の方に来ていただき、応急手当の意義や基礎知識について教えていただきました。

最初は不安だった生徒も、事前の学習が生かされ、頭の中で整理しながら実践でき、自信につながりました。講習の中では積極的に質問をして、わからないところは丁寧に教えていただきました。

講習の中で特に強調して言われていたのが、「呼吸や心肺停止の状態であればとにかく胸骨圧迫をすること」でした。胸骨圧迫をすることで救われる命がたくさんあることを教えていただきました。講習の中で、人形を使って胸骨圧迫の練習を何度も何度もさせていただいていたように指導していただきました。丁寧に指導いただいたので、講習の最後は全員が救命処置の全体的流れを理解しながら完璧にできていて、本当に素晴らしいです。

「自分も人の命を助けることができる人になれたことが本当に嬉しい。」とか「もしも救命処置が必要な場面に遭遇したとき、進んでやるようにしたい。」とか生徒たちは話していました。

その自信をとんでも頼もしいと感じました。この学習でも、体験をおして「大切な命」について、更に深く学びました。



「川中特選メニュー」

川口定食を召し上がれ

2月2日(火)に地域の食材を生かした調理実習を行いました。学校地域本部事業の川口中学校コ―ディネーターである衣川瞳さんの紹介で、片山幸代様と今田栄子様にご講師としてお世話になりました。



メニュー  
牛肉たっぷりハンバーグ  
新鮮地元野菜のけんちん汁

いろいろなと教えていただきながらグループごとに力を合わせて調理しました。さすがに家で台所に立つ機会の多い生徒は手慣れたもので、手際よく調理を進めることができました。

地元産の新鮮な野菜をたっぷり使い、天然素材からの出汁を用いたけんちん汁に、まろやかなふるさとの味を楽しみました。

その後、みんなで心のこもった調理に舌鼓を打ちました。  
生徒の感想から  
「野菜がおいしくて、びっくりした。」  
「うまく切れて、嬉しかった。」  
「おばあちゃんはずごとと思った。」



携帯電話やパソコンは使いよう!

携帯電話やインターネットは使い方一つで、役に立つ道具にもなれば、子どもの身を危険にさらす道具にもなります。外の世界とすぐに情報がつながることによって、見知らぬ危険な世界と子どもが直結してしまう可能性があります。

子どもが使用したいと言ってきたときこそ、話し合いのチャンス。「なぜ使用したいのか」などについて、親子で話し合い、納得した上で、使う・使わないを決めましょう。

使うときは、例えば、フィルタリング機能を設定する、携帯電話は寝るとき部屋に持ち込まない、夜10時以降は使わないなどの使用場所や使用時間、使つてよい目的などについて、それぞれの成長段階にあったルールを家庭で決めましょう。マナーや危険から身を守る方法についても、親がしっかりと教えることが必要です。

(イキイキ子育て 家庭教育手帳 文科省より)



3月行事予定

日	曜	行事等
2	水	学年末テスト (～4日)
4	金	公立高校入試
9	水	生徒大会 3年生を送る会
11	金	いい日あいさつデー
15	火	第64回卒業証書授与式
24	木	修了式

4月予定

- 4/4 離任式
- 4/7 着任式/始業式
- 4/8 入学式
- 4/12 生徒会オリエンテーション
- 4/16、17 春季大会
- 4/24 PTA総会



私と小鳥と鈴と

金子みすゞ

私が両手をひろげても、  
お空はちっとも飛べないが、  
飛べる小鳥は私のように、  
地面を速くは走れない。

私がかからだをゆすつても、  
きれいな音は出ないけど、  
あの鳴る鈴は私のように  
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、  
みんなちがって、みんないい。



金子みすゞは、明治36年4月11日生まれで、大正時代末期から昭和時代初期にかけて活躍した童謡詩人です。本名は、金子テール(かねこてる)。  
大正末期から昭和初期にかけて、26歳の若さでこの世を去るまでに512編もの詩を綴つたとされます。  
詩作への評価の広まりと共に、童謡・歌曲・合唱曲として広く作曲されるようになりました。  
2月26日(土)には、川口地域人権教育推進協議会主催による「金子みすゞのうた〜人権コンサート〜」が多目的ホールで開催されました。

